

令和7年度 墨田区立二葉小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 由良 隆

学校教育目標	・自分でつくる丈夫な体 ・自分で取り組む確かな学習 ・自分で深める温かく強い心 ・みんなで築く楽しい生活
目指す学校像	自己実現のできる学校
目指す児童像	自分と人、ものを大切にできる子
目指す教師像	使命感をもつ教師

○令和7年度 学校経営計画における重点内容  
日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上を図る（第4期教育振興基本計画より）

- ・思いやりの心の育成を基盤とした心の教育の推進（徳育）
- ・健康教育の推進（体育）
- ・授業改善の推進（知育）
- ・「みんなで築く楽しい生活」の推進（教職員や児童、保護者、地域の方々のウェルビーイング）

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
	「学びに向かう力」を発揮させる授業を実施し、確かな学力を育成する	「学びに向かう力」を発揮させる手立てを設定した授業観察と事後指導を全教員に年間2回以上実施する	4	学びに向かう力を発揮させる授業の実施 100%	4	4	学校独自の学力調査の目標値達成率 80%以上	4	・校内研究でもある思考スキルを育成するための授業改善を全教員で取り組んだことで児童の学びに向かう力が育成した。	・生活・総合的な学習の時間を柱としてカリキュラム・マネジメントによる単元の工夫をより一層、推進していく。	A	A	概ねよい。
			3	学びに向かう力を発揮させる授業の実施 80%以上		3	学校独自の学力調査の目標値達成率 70%以上						
			2	学びに向かう力を発揮させる授業の実施 60%以上		2	学校独自の学力調査の目標値達成率 60%以上						
			1	学びに向かう力を発揮させる授業の実施 60%未満		1	学校独自の学力調査の目標値達成率 60%未満						
各教科指導等	高学年の教科担任制と低中学年の交換授業を中心に、授業力・専門性の向上を図る	交換授業年間2回以上、授業力や専門性の向上を図る教員研修を年間3回以上実施する	4	交換授業、教員研修の実施状況 100%	3	4	教員アンケート肯定的回答 80%以上	4	・高学年の教科担任制と低・中学年の交換授業の実施は、5年目を迎えて定着し、各教員の専門性の向上が図られている。	・次年度から中学年も教科担任制になる。専門教科だけでなく、どの教科でも専門性が高められるように研修の機会を増やしていく。	B	A	概ねよい。
			3	交換授業、教員研修の実施状況 80%以上		3	教員アンケート肯定的回答 70%以上						
			2	交換授業、教員研修の実施状況 60%以上		2	教員アンケート肯定的回答 60%以上						
			1	交換授業、教員研修の実施状況 60%未満		1	教員アンケート肯定的回答 60%未満						
	カリキュラム・マネジメントに基づき、学習発表会を実施し、学習の成果を発表する	地域及び外部人材を招いて年間6回以上授業を行う	4	外部人材等による授業実施状況 100%	4	4	保護者アンケート肯定的回答 80%以上	4	・1年間の学習の成果や地域人材や外部人材による授業等を活かして、学習発表会を実施した。 ・発表内容や方法も児童の思いを大切にしながら進めることができた。	・地域及び外部人材のリストを作成し、担任が代わっても継続して活用できるよう、毎年の取組として定着させる。	A	A	地域に人材が豊富なので学習内容に合った人材を紹介していきたいので、いつでも相談してほしい。
			3	外部人材等による授業実施状況 80%以上		3	保護者アンケート肯定的回答 70%以上						
			2	外部人材等による授業実施状況 60%以上		2	保護者アンケート肯定的回答 60%以上						
			1	外部人材等による授業実施状況 60%未満		1	保護者アンケート肯定的回答 60%未満						
	いじめ、不登校の予防・解決に向けて組織的な取組を行う	生活指導部会（毎月）と生活指導情報交換会（毎週）を行い、課題解決を図る	4	教員アンケート肯定的回答 100%	4	4	保護者アンケート肯定的回答 100%	3	・いじめについての教員のアンテナが高くなったことで、より組織的な対応ができるようになった。 ・不登校に関してもSCと連携し、児童に寄り添った指導ができた。	・全教員がいじめの認知の事例をもとに共通理解を図り、軽微ないじめも見逃さないという意識を高め、さらなる未然防止を図る。	B	B	いじめの早期発見・解決については徹底して取り組んでほしい。地域も協力できることがあれば進んで協力する。
			3	教員アンケート肯定的回答 80%以上		3	保護者アンケート肯定的回答 80%以上						
			2	教員アンケート肯定的回答 60%以上		2	保護者アンケート肯定的回答 60%以上						
			1	教員アンケート肯定的回答 60%未満		1	保護者アンケート肯定的回答 60%未満						
生活指導等	全学級で、児童が進んで考える道徳授業を確実に実施し、基本的な生活や社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む	道徳推進教師による道徳だよりを年間6回以上発行する	4	道徳だよりの発行状況 100%	4	4	保護者アンケート肯定的回答 100%	4	・道徳推進教師が定期的に道徳だよりを発行し、道徳科の時間の学習の様子やねらいとする価値に関する児童の考え等を共有した。	・道徳推進教師による校内研修等を実施し、若手教員の道徳科の授業の力量をさらに高める。	A	A	概ねよい。
			3	道徳だよりの発行状況 80%以上		3	保護者アンケート肯定的回答 80%以上						
			2	道徳だよりの発行状況 60%以上		2	保護者アンケート肯定的回答 60%以上						
			1	道徳だよりの発行状況 60%未満		1	保護者アンケート肯定的回答 60%未満						
	安全教育、安全指導を計画的に実施し、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	全学級で安全教育プログラムや東京マイ・タイムラインを活用した授業を年間2回以上実施する	4	授業の実施状況 100%	3	4	保護者アンケート肯定的回答 100%	3	・避難訓練の実施方法について生活指導部中心にPDCAサイクルが徹底できた。また、改修工事による校舎内の使用制限があるなかでも児童の安全を第一に避難ルートを構築した。	・避難訓練の振り返りについて、学校全体で共通化を図り、児童がより主体的に避難行動をとったり、危機回避能力を高められるようにする。	B	B	改築工事の本格化に伴って、防災面や防犯面できめ細かい配慮が必要である。
			3	授業の実施状況 80%以上		3	保護者アンケート肯定的回答 80%以上						
			2	授業の実施状況 60%以上		2	保護者アンケート肯定的回答 60%以上						
			1	授業の実施状況 60%未満		1	保護者アンケート肯定的回答 60%未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
学校の管理運営	各教員が学校経営方針に基づいた目標管理を行い、組織的な教育活動・学校運営等を図る	学校経営方針を明示し、自己申告の具体的な目標設定について全教員とヒアリングを行う	4	学校経営方針の実現状況 100%	4	4	教員アンケート肯定的回答 100%	・年間3回のヒアリングを適正に行い、各教員の目標設定・目標管理を進め、学校運営力・組織貢献力を高めたことで、より組織的な学校経営を図ることができた。	・120周年記念式典に向けた学校経営上の課題を整理し、共通理解を図る。教職員の力を結集させ、よりよい学校経営を進める。	B	B	120周年記念式典は地域も期待している。一緒に頑張っていきたい。
			3	学校経営方針の実現状況 80%以上		3	教員アンケート肯定的回答 80%以上					
			2	学校経営方針の実現状況 60%以上		2	教員アンケート肯定的回答 60%以上					
			1	学校経営方針の実現状況 60%未満		1	教員アンケート肯定的回答 60%未満					
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う	前期末の中間評価と年度末評価を実施しPDCAサイクルによる課題解決を図る	4	適切な学校評価の実現状況 100%	4	4	教員アンケート肯定的回答 100%	・中間評価と年度末評価のサイクルによる学校評価によって年度途中においても臨機応変に課題への対応が図られた。	・中間申告では、目標に対しての達成率を明確にさせていく。特に区学力調査の数値に重点を置き、対応策・改善策を共有していく。	B	B	概ねよい。
			3	適切な学校評価の実現状況 80%以上		3	教員アンケート肯定的回答 80%以上					
			2	適切な学校評価の実現状況 60%以上		2	教員アンケート肯定的回答 60%以上					
			1	適切な学校評価の実現状況 60%未満		1	教員アンケート肯定的回答 60%未満					
	適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える	学校改築工事の打ち合わせを毎週行い、安全な学習環境を確保する	4	改築工事打ち合わせの実施状況 100%	4	4	教員アンケート肯定的回答 100%	・改築工事により、年度途中に学校経営上の課題が生じることがあったが、教育委員会や公共マネジメント推進課、工事業者との連携が適切に行っていたので早急に課題を解決できた。	・次年度には体育館棟が完成する。次年度以降起こりうる課題を教育委員会や公共マネジメント課と共有し、よりよい学校経営を進められるようにしていく。	B	B	改修工事が児童の教育に影響しないようにしてほしい。
			3	改築工事打ち合わせの実施状況 80%以上		3	教員アンケート肯定的回答 80%以上					
			2	改築工事打ち合わせの実施状況 60%以上		2	教員アンケート肯定的回答 60%以上					
			1	改築工事打ち合わせの実施状況 60%未満		1	教員アンケート肯定的回答 60%未満					
家庭・地域連携	教育活動の意図的・計画的・積極的な発信や公開を行い、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等の充実を図る	学校公開（年2回）、保護者会（各学年3回）、学校説明会、学校だより、ホームページ等による定期的な情報発信を行う	4	情報発信及び公開の実施状況 100%	3	4	保護者アンケート肯定的回答 100%	・ホームページの更新回数を増やし、学校行事や教育活動の様子を昨年度以上に発信した。 ・コクローの活用により、学校だよりや学年だより等の学校情報を迅速・確実に発信した。	・保護者から「学校からのコクローが多く、探すのが大変。」という声があったことを受けて。メールの題名などを工夫していく。	A	A	概ねよい。
			3	情報発信及び公開の実施状況 80%以上		3	保護者アンケート肯定的回答 80%以上					
			2	情報発信及び公開の実施状況 60%以上		2	保護者アンケート肯定的回答 60%以上					
			1	情報発信及び公開の実施状況 60%未満		1	保護者アンケート肯定的回答 60%未満					
	保護者・地域の声を生かした学校経営を行い、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を推進する	毎月のPTA役員会や年間3回の学校運営連絡協議会を行う	4	役員会や学校運営連絡協議会の実施状況 100%	4	4	保護者アンケート肯定的回答 100%	・PTA役員会において、PTA運営の課題を整理し改善策を検討した。 ・学校運営連絡協議会は行事と同日に行い、児童の姿を見られるようにした。	・次期PTA役員会の推薦方法について引き続き検討していく。	A	A	概ねよい。
			3	役員会や学校運営連絡協議会の実施状況 80%以上		3	保護者アンケート肯定的回答 80%以上					
			2	役員会や学校運営連絡協議会の実施状況 60%以上		2	保護者アンケート肯定的回答 60%以上					
			1	役員会や学校運営連絡協議会の実施状況 60%未満		1	保護者アンケート肯定的回答 60%未満					
				4			4					
				3			3					
				2			2					
				1			1					

○令和7年度 学校経営報告のまとめ（総括）

- ・教育課程に基づいて組織的・計画的に教育活動の質の向上を図ることができた。
- ・カリキュラム・マネジメントを校内研究の柱に据えたことで、各教科指導の充実が図られた。
- ・教科担任制と副担任制により、いじめや不登校をはじめ生活指導上の課題等に関する組織的な対応が一層図られた。
- ・改築工事による学校教育への影響や課題に素早く対応し、保護者や地域との情報共有によって改善を図った。